

収受番号: 46

評価結果提出届 (兼受理書)

(小規模多機能型居宅介護)

健康福祉局介護事業指導課 あて

(太枠内のみ記入してください。)

提出日: 2023年4月15日

届出者	サービス種別 (該当に○)	○	小規模多機能型居宅介護					○	介護予防小規模多機能型居宅介護			
	事業所番号	1	4	9	0	9	0	0	0	6	3	
	事業所名	こもれびの郷										
	事業所所在地	(〒222-0022) 横浜市港北区篠原東1-5-20										
	担当者名	管理者 加藤 輝彦										
	連絡先	電話	045-402-9526					FAX	045-402-9512			

次のとおり、資料を添えて提出します。

運営推進会議開催日		令和5年 3月29日	
添付書類 (チェック欄にレ)	チェック欄	レ	事業所自己評価
		レ	サービス評価総括表
		レ	返信用封筒(84円切手を貼った返信先明記の長3封筒)

(以下は記入しないでください。)

評価結果提出届を受理しました。

受理日	5年4月18日	実施年度	4年度
次回実施期限	6年3月31日		

<次回の外部評価実施後、運営推進介護を開催した日から1か月以内に提出をしてください。>

<この受理書は再発行しません。>

【発行】 横浜市健康福祉局介護事業指導課 電話 045-671-3466 FAX045-550-3615

受付担当者:



横浜市収受印

5.4.18

収受

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	特定非営利活動法人 まごころケアサポート	代表者	理事長 加藤 孝雄	法人・事業所の 特徴	地域の一員として地域と共に成長している。いつも笑顔を大切にしている。利用者からの笑顔を引き出してはいる。行事など職員がグループ毎に企画から実行まで責任を持ち、常に利用者を楽しんで頂けるように努めている。「明るく楽しく元気よく」を日々忘れずに業務しております。
事業所名	こもれびの郷	管理者	加藤 輝彦		

出席者	市町村職員	0人	知見を有するもの	0人	地域住民・地域団体	2人	利用者	0人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	3人	その他	0人	合計	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	イベントの再開に向けて感染対策を行いながら楽しんで頂けるような企画を考える。	本年度は新型コロナウイルス感染症拡大および事業所にてクラスターが発生した事によりイベント再開には至らなかった。	早く新型コロナウイルス感染症拡大が収まりイベント等も再開して地域の方にも施設を知ってもらいたい。	政府の新型コロナウイルス対策にて緩和されているので来年度はイベントも少しずつ開催させていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	新型コロナウイルス終息するまで、感染させない、しないとし、引き続き誰でも気軽に立ち寄れる事業所づくり。	感染拡大予防をしていたが事業所にてクラスターが発生してしまいで以降慎重に対策を施してしまいで改善できなかつた。	あの感染状況ではどこでクラスターが起きても仕方ない状態であった。職員のやりくりも大変だったと思う。	政府の規制緩和によりイベントも再開していきたいが重症化リスクもあるので慎重に少しずつ行っていく。
C. 事業所と地域のかかわり	引き続き各種イベントへの参加をお互いに行う。さらに介護についての講習会などの実施もしていく。	事業所クラスター発生により慎重になり外部からの出入り面会を制限していたので実現できなかつた。	お年寄りが多い地域なので介護講習会を早く実現してもらいたい。	引き続き各種イベントへの参加、高齢化社会などで介護講習会などを地域の皆様方に行いたい。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取組み	近隣の利用者が多くなくなっている中で積極的に近隣公園等に散歩に出かけ顔見知りの方に出会えるようにする。	事業所クラスターにより慎重になり近隣の散歩ぐらいいしは行えなかつた。遠目で子供達が遊ぶ姿は見れ笑顔が出ていた。	新型コロナウイルス感染症拡大にも関わらず、散歩している姿を見かけた。	近隣の利用者が多くなくなっている中で積極的に近隣公園等に散歩に出かけ顔見知りの方に出会えるようにする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	引き続き互いの協力関係を生かし年寄りが安心して暮らせる地域づくりを行う。	近隣の地域からの相談が増えている。ご利用者ご家族からの紹介などもあった。	新型コロナウイルスという事もあり介護サービスを利用しない方で家族で介護している方も多いようである。	引き続き互いの協力関係を生かし年寄りが安心して暮らせる地域づくりを行う。
F. 事業所の防災・災害対策	引き続き地域との防災・災害による訓練の実施。	新型コロナウイルス拡大により地域との訓練等が実施できなかつた。	急斜面な所が多くあり土砂崩れ発生時など介護が必要の方がいる方には安心して避難できる場所があつてよい。	大規模災害に備えて連絡体制の強化を行う。また、引き続き訓練の実施。